

佐賀県知事 様

住 所 佐賀市唐人二丁目5-15 TOJIN館2階
団 体 名 NPO 法人空家・空地活用サポート SAGA
代表者職・氏名 代表理事 塚原 功
電話番号 0952-20-0960

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和3年11月15日付け県協第1492号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金（「NPO等を指定した支援」）による寄附金については、下記のとおり申請内容を変更したいので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和3年度年度寄附金活用実績報告書

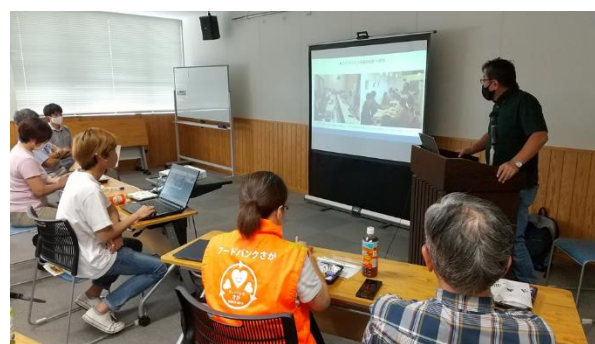
特定非営利活動法人空家・空地活用サポート SAGA

事業名	住宅確保要配慮者のための居住支援事業		
実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
寄附受入額	金882,500円		
事業内容(いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)			
<p>■住宅確保要配慮者への対応支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応は、当団体事務所他(月曜日～金曜日) 9時00分～18時00分、電話受付後 土日も対応 ・対応者:塚原功、武藤信也、内川実佐子 			
	説	明	対応人数
入居前の支援	入居に向けた相談等	相談窓口の設置や訪問による相談対応といった要配慮者の相談内容ヒアリング	40名
	物件の情報収集、要配慮者への情報提供支援等	不動産店からの情報や空き家(空アパート、空き戸建て等)所有者相談物件情報の提供、また物件内覧の同行から契約までの支援	38名
	家賃債務保証	家賃債務保証の実施、家賃債務保証機関の紹介・取り次ぎ	4名
	緊急連絡先の確保	緊急連絡先の実施、緊急連絡先の調整・取り次ぎ	12名
	サブリース等による賃貸住宅への入居支援	所有の賃貸住宅、又は借り上げた賃貸住宅への入居に至るまでの活動支援	30名
入居中の支援	見守りサービス	定期的または随時の訪問等による見守り	25名
	入居後の相談等	一般的な生活相談や、緊急・トラブル発生時の解決	8名
	就労支援・生活指導	就労支援の実施・同行、金銭管理、居場所の提供、社会参加のための取り組み	6名
① 上記より重複分を除いた実対応人数			40名

■セミナーの開催 1

イベント名	居住支援ネットワーク構築のための勉強会 2021	日 程	2021年9月28日(火)
時 間	11:00~13:30	参加者数	22名
場 所	佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀市市民活動プラザ大会議室 G		
内 容	<p>【第1部】11:00~12:00 勉強会演題:フードバンクと地域連携 講師:特定非営利活動法人 フードバンクさが 理事長 干潟 由美子氏</p> <p>【第2部】12:00~13:00 空き家対策ネットワークの居住支援部門のネットワーク構築 話題提供:特定非営利活動法人空家・空地活用サポートSADA 代表理事 塚原 功</p> <p>【第3部】13:00~13:30 参加者の情報交換</p>		
参 加 者	22名(各種支援団体・NPO等:16名、社協:1名、大学教授:1名、不動産店:1名、建築士:1名、居住支援法人:2名)		

記録写真



新型コロナウイルス対策:

・受付時、検温器ですべての参加者を検温、受付名簿に記載。また、連絡先を改めて記入していただき、万が一会場で感染者がでたときのため、連絡先を取得した。

■セミナーの開催 2

イベント名	居住支援プラットフォーム ネットワーク構築勉強会	日 程	2021年12月7日(火)
時 間	10:30~12:00	参加者数	19名
場 所	佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀市市民活動プラザ中会議室 D・E		
内 容	<p>勉強会演題:孤立無援者の生活を支える 講師:生活支援センター 永田啓造</p>		
参 加 者	19名(各種支援団体・NPO等:12名、社協:1名、大学教授:1名、不動産店:1名、建築士:1名、医療従事者:1名、居住支援法人:2名)		

記録写真



新型コロナウイルス対策:

・受付時、検温器ですべての参加者を検温、受付名簿に記載。また、連絡先を改めて記入していただき、万が一会場で感染者がでたときのため、連絡先を取得した。

事業実施の成果・効果 (見込み)

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

■どのような要配慮者の方に対応したか

※要配慮者の属性が複数にまたがる場合(例:高齢者かつ障がい者)は主となる属性1つに記載

属性	人数	属性	人数	属性	人数
低額所得者	29	被災者	2	高齢者	8
障がい者	13	子ども養育者	17	外国人	0
DV被害者	4	犯罪被害者	0	矯正施設退所者	4
上記以外 破産者(0)、生活困窮者(11):重病(2)、精神疾患等(8)					

■空き家(手つかずの空家・借り手が付かないアパート・マンション・一戸建ての賃貸物件など)を住宅確保要配慮者の居住に活用できるようにコーディネートできた。

■住宅確保要配慮者の中には、重病の方や精神疾患等の方もいるため、見守りについて検討中であった。担当者が訪問時に入居者が倒れたため病院へ緊急搬送した。また、生保受給から卒業するために仕事の紹介も行った結果、出勤してこないと連絡が入り訪ねて倒れているところを発見した。救急車で運ばれ命は助かった。このように見守りはこれからの課題である。担当者が発見していなかったらと心配になる。

■所有者・利活用者・使用者が共に受益者となり、共感者が増え空き家の解決数も増大した。要配慮者への支援は住宅確保だけにとどまらず、貧困者(生活保護の申請中など)への支援をフードバンクさがと連携して、食糧支援などができた。また、令和3年度は、シビックフォースの協力もあり、マスクや日用品の提供も行えた。

■令和3年度も、想定していた要配慮者の範囲を大幅に超えて多重困難者及び矯正施設退所者などの支援もできたことは大いなる成果ではないかと考える。

収支決算書

特定非営利活動法人空家・空地活用サポート SAGA

事業名		住宅確保要配慮者のための居住支援事業	
区 分		決算額(円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	882,500	
		収入 計	882,500
支 出			
	地代・家賃	36,000	物件からふる 3,000 円×12 ヶ月
	印刷費	21,380	チラシ印刷費
	修繕費	438,050	総額 917,840 円うち(物件からふる:屋根の雨漏り修繕)438,050 円
	水道光熱費	139,888	物件からふる
	通信費	66,319	固定 IP 取得にかかった費用含む
	使用料・賃借料	7,300	会議室 2 回分(勉強会:市民活動プラザ)
	返礼品等の調達に係る費用	163,013	
	返礼品等の送付に係る費用	10,550	
		支出 計	882,500

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。